

今こそ求められる**減災対策**

都市の危機管理における 路面下空洞対策

オールジャパンで
国土強靱化を



レジリエンスジャパン
推進協議会

定員200名様

平成29年 **10/26** 木

開催日時 13:00～16:30(12:30受付開始)

開催場所 鉄鋼会館
〒103-0025東京都中央区茅場町3-2-10

来賓挨拶 小此木 八郎氏 氏

国土強靱化担当 内閣府特命（防災）担当大臣



皆さん、こんにちは。小此木八郎と申します。今日はこのシンポジウムの開催を心からお喜び申し上げる次第でございます。開催に当たりご尽力されました高島福岡市長、桑野東京大学教授を初め、関係各位に心から敬意を表する次第であります。藤井先生、ありがとうございました。私は現在の大臣でありますけれども、初代大臣である古屋先生もお越しですから話すことはありませんが、せっかくですから一言だけお話しさせていただきます。

このレジリエンスジャパン推進協議会におかれましては、今回のような国土強靱化に関するシンポジウムの開催、国土強靱化の推進に当たっての課題解決に向けたワーキンググループの運営などを初め、日ごろから我が国の強靱化に資する取り組みを積極的に推進いただいております。改めて感謝申し上げます。

さて、東日本大震災、あるいは熊本の震災もございました。台風被害も相次いでおります。さらには洪水などもあり、近年、多数の災害が発生していることはもうご案内のとおりです。それから南海トラフ地震、首都直下地震。こうした中、

大規模自然災害から人の命を守る、経済被害を最小化する、迅速な復旧・復興を果たすことを目的とした強靱な国づくりへの取り組みを着実に進めていく必要があると認識していることは言うまでもありません。

本日のテーマである路面下空洞対策は、高島市長を議長とする都市の危機管理における路面下空洞対策戦略会議において検討が進められていると聞いております。路面下空洞対策等による大規模地震時での道路機能の確保は、応急復旧や被災者支援等を迅速に行うために重要であることから、地方自治体においては、国土強靱化地域計画へ反映する等により地域の強靱化に努めていただきたいと思います。

最後に、本シンポジウムにより、路面下空洞対策の重要性が全国の自治体、民間の皆様にも共有され、災害時の都市機能の維持に向けた検討や取り組みが進むことを期待して、私からの挨拶といたします。ありがとうございました。